

THINK NOW ハンセン病ーグローバル・アピール 2015ー ～ハンセン病患者と回復者に対する社会的差別の撤廃に向けて～

日時：2015年1月27日（火）

場所：ANA インターコンチネンタルホテル

10：30ー グローバル・アピール 2015 宣言式典

映像上映「Leprosy in Our Time」

ビデオメッセージ

潘基文国連事務総長

ダライ・ラマ法王

主催者挨拶

笹川陽平日本財団会長

ジュディス・シャミアン国際看護師協会会長

来賓挨拶

ラモス・ホルタ元東ティモール大統領

スリン・ピッサワン元 ASEAN 事務総長

グローバル・アピール 2015 宣言

クリスティ・レーン・イバルダローサ（クリオンハンセン病総合病院看護師、フィリピン）（読み上げ）

チアゴ・フロレス（ハンセン病 NGO “MORHAN” ミナス・ジェライス州コーディネーター、ブラジル）（読み上げ）

ラモス・ホルタ元東ティモール大統領／ スリン・ピッサワン元 ASEAN 事務総長／

ジュディス・シャミアン国際看護師協会会長／ 日本看護協会坂本すが会長／

森和男全国ハンセン病療養所入所者協議会会長／ 笹川陽平日本財団会長



11:45ー THINK NOW ハンセン病 ビデオメッセージキャンペーン紹介

12：00-13：00 昼食

13：00-18：00 ハンセン病国際シンポジウム 「今、何故ハンセン病問題なのか？」

シンポジウム趣旨説明

田南立也・日本財団常務理事

ハンセン病回復者によるライフ・ヒストリーの共有

①ヴァガヴァタリ・ナルサッパ（ハンセン病回復者協会会長、インド）

②山内きみ江（国立療養所多磨全生園）

13 : 40-14 : 40

パネルディスカッション1「ハンセン病と医療・看護—あらゆる人に尊厳あるケアを—」

●ファシリテーター：喜多悦子（公益財団法人笹川記念保健協力財団理事長）

●パネリスト：

- ① 山口乃生子（埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師）
- ② クリスティ・レーン・イバルダローサ（クリオンハンセン病総合病院看護師、フィリピン）
- ③ 藤澤千栄美（国立療養所多磨全生園看護部長）／ 木村あつ子（同副看護部長）／
石田正子（同看護師）
- ④ ディリープ・クマール（インド看護協会会長）

（14 : 40-15 : 00 コーヒーブレイク）

15 : 00-16 : 00

パネルディスカッション2「風化させてはならないハンセン病の歴史」

●ファシリテーター：ジョセフィン・ロバートソン（クイーンズランド大学講師）

●パネリスト：

- ① 平沢保治（国立ハンセン病資料館運営委員）、黒尾和久（国立ハンセン病資料館学芸部長）
- ② アルトゥロ・クナナン（クリオンハンセン病療養所／総合病院院長、フィリピン）
- ③ アルトゥール・クストジオ（ハンセン病 NGO “MORHAN” ナショナル・コーディネーター、ブラジル）

（16 : 00-16 : 20 コーヒーブレイク）

16 : 20-17 : 50

パネルディスカッション3「ハンセン病問題の将来—私たちにできることは？—」

●ファシリテーター：横田洋三（公益財団法人 人権教育啓発推進センター理事長）

●パネリスト：

- ① アサン・リン（ハンセン病ワークキャンプ NGO “家-JIA-”、中国）
- ② シラタン・セルムリティロング（タイ保健省疾病対策部ラー・プラチャ・サマサイ・研究所・公衆衛生テクニカル・オフィサー、タイ）
- ③ チアゴ・フロレス（ハンセン病 NGO “MORHAN” ミナス・ジェライス州コーディネーター、ブラジル）
- ④ 森和男（全国ハンセン病療養所入所者協議会会長）

17 : 50 閉会の言葉 紀伊國献三・公益財団法人笹川記念保健協力財団会長